

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

(中国水墨画科)

科目区分	必修 選択の 区分	授業科目	実務教員による授業	うちシラバス 添付	第1学年		第2学年		授業時数 合計 (単位数)	実務教員授業時数		うちシラバス添付授業時数		
					週間 授業時数	年間 授業時数	週間 授業時数	年間 授業時数		第1学年	第2学年	第1学年	第2学年	
講 義	必 修	中国画論	●		2	36	2	36	72	36	36			
		中国語	●		2	48	2	48	96	48	48			
		中国美術史	●	★	2	40	2	40	80	40	40	40	40	
		書道	●		2	32	2	32	64	32	32			
演 習 実 技	必 修	造形基礎	●	★	24	48	24	96	144	48	96	48	96	
		素描	●		24	168			168	168				
		色彩	●		24	96			96	96				
		中国水墨画基礎	●	★	24	48			48	48		48		
		工筆花鳥模写	●		24	48			48	48				
		工筆花鳥写生	●		24	48			48	48				
		写意花鳥模写	●		24	48			48	48				
		写意花鳥写生	●		24	48			48	48				
		花鳥創作	●		24	72			72	72				
		山水模写	●				24	96	96		96			
		山水写生	●				24	72	72		72			
		山水創作	●				24	96	96		96			
		工筆人物模写	●				24	48	48		48			
		工筆人物写生	●				24	48	48		48			
		写意人物模写	●				24	48	48		48			
		写意人物写生	●				24	48	48		48			
		人物創作	●				24	48	48		48			
		技法材料研究	●			30	124			124	124			
		卒業制作	●					30	150	150		150		
		体育祭					10		10	20				
芸術祭					70		70	140						
健康診断					2		2	4						
特別講演会	●				4		4	8	4	4				
必修科目授業時数					990		992		1,982	908	910	136	136	
選択科目授業時数														
卒業に必要な総授業時数					990		992		1,982	908	910	136	136	

東洋美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
造形専門課程	中国水墨画科 昼間部(2年制)	2019	1年・前期
授業区分	授業科目名	担当教員	時間数
実 技	中国水墨画基礎	志田原三希子・城万梨子	48時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
<ul style="list-style-type: none"> ・中国水墨画の基礎となる線描の筆法(中鋒用筆)を理解し、安定した力強い線が書けるようになる。 ・線による造形を理解する(線の前後・虚实・強弱・太細・硬軟・疎密の関係など) 			
【講義概要】			
<ul style="list-style-type: none"> ・水墨画で使用する道具:文房四宝(硯・墨・筆・紙)や色についての基本的知識と使い方を学ぶ。 ・中国歴代名画の模写を通して、水墨画の基礎となる筆遣いを学び、習得する。 			
回	授業計画及び学習の内容		
1	文房四宝(硯・墨・筆・紙)とその使い方。運筆の基本について。		
2	伝統的な線の練習～白描画の模写		
3	"		
4	"		
5	"		
6	"		
7	基本的な着色方法の練習～分染・平染		
8	"		
【成績評価方法】			
課題作品の提出。出席状況、授業態度を加味する。			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
歴代中国名画の中の優れた線描(白描)作品の模写を行う。担当教員は二名とも中国国立美術大学である中央美術学院の水墨画教授より直接指導を受け、10年以上にわたる水墨画創作活動や水墨画教室講師等での豊富な経験を活かし、初めての者にもわかりやすく、且つ伝統に則した指導を行っている。			

東洋美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
造形専門課程	中国水墨画科 昼間部(2年制)	2019	1年・2年 前期・後期
授業区分	授業科目名	担当教員	時間数
講義	中国美術史	川浦みさき	1年で40時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
自分は何故絵を描くのか、どのような絵を描きたいのかを考えながら、美術の基本的流れを理解し、自身の創作に役立てる。			
【講義概要】			
テキスト「中国絵画の流れ」(露満堂 刊)を軸に、最近の発見や出土品を資料で補いながら、中国の美術史を学ぶ。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	原始時代から戦国時代～中国画の源		
2	秦・漢代～少数民族と漢族の世界		
3	三国・魏晋～仏教美術		
4	南朝の絵画		
5	西域の絵画		
6	隋・唐代の絵画～山水画		
7	隋・唐代の絵画～花鳥画		
8	隋・唐代の絵画～人物画・墓室壁画		
9	敦煌・西域の壁画		
10	五代の山水と風俗画		
【成績評価方法】			
レポートの提出。出席状況、授業態度を加味する。			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
中国の美術史をただなぞるだけでなく、具体的な画法の違いや画論の紹介なども交えて講義する。			
担当教員は中国の大学で美術史と山水画を学んだ留学経験があり、水墨画家としても活躍している豊富な経験を活かし、絵を描く者の目線から美術の流れを紹介する。			

東洋美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
造形専門課程	中国水墨画科 昼間部(2年制)	2019	1年・後期
授業区分	授業科目名	担当教員	時間数
実 技	造形基礎	関乃平・佐藤圭子	48時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
・造形の最も複雑で最も美しい人体表現への挑戦。			
・人体の構造を理解し正確に表現する造形力を養う。			
・水墨画で重視されている「線」による人体表現を試みる。			
【講義概要】			
・人体の鉛筆デッサンを通して、観察方法と表現方法の訓練に力を入れる。			
・全体を見て繰り返し比較を重ね、常に誤りがないか修正しながら、関係を調整する。			
【授業計画及び学習の内容】			
回	授業計画及び学習の内容		
1	人体の鉛筆デッサン(男性ヌード)		
2	"		
3	"		
4	"		
5	人体の鉛筆デッサン(女性ヌード)		
6	"		
7	"		
8	"		
【成績評価方法】			
課題作品の提出。出席状況・授業態度を加味する。			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
人物モデルを見ながらの実技制作。担当教員の関は画歴数十年で本校中国水墨画科設立に携わった学科長であり、永年日中の水墨画教育に貢献している。佐藤は水墨画以外に洋画など多方面に造詣があり、海外で個展開催などもしている。豊かな経験に基づく、広い視野を持った造形指導を展開している。			

東洋美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
造形専門課程	中国水墨画科 昼間部(2年制)	2019	2年 前期・後期
授業区分	授業科目名	担当教員	時間数
講義	中国美術史	川浦みさき	40時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
自分は何故絵を描くのか、どのような絵を描きたいのかを考えながら、美術の基本的流れを理解し、自身の創作に役立てる。			
【講義概要】			
テキスト「中国絵画の流れ」(露満堂 刊)を軸に、最近の発見や出土品を資料で補いながら、中国の美術史を学ぶ。			
回 授業計画及び学習の内容			
1	北宋の山水画		
2	北宋画院の花鳥画・人物画		
3	南宋絵画と禅画		
4	遼・金・西夏と元の四大家		
5	元代絵画		
6	明代絵画		
7	明末・清初の絵画		
8	清代絵画と揚州八怪		
9	民間絵画と少数民族		
10	近代絵画		
11			
12			
13			
14			
15			
【成績評価方法】			
レポートの提出。出席状況、授業態度を加味する。			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
中国の美術史をただなぞるだけでなく、具体的な画法の違いや画論の紹介なども交えて講義する。			
担当教員は中国の大学で美術史と山水画を学んだ留学経験があり、水墨画家としても活躍している豊富な経験を活かし、絵を描く者の目線から美術の流れを紹介する。			

東洋美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
造形専門課程	中国水墨画科 昼間部(2年制)	2019	2年・前期 後期
授業区分	授業科目名	担当教員	時間数
実 技	造形基礎	関乃平・佐藤圭子	96時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
・造形の最も複雑で最も美しい人体表現への挑戦。			
・人体の構造を理解し正確に表現する造形力を養う。			
・水墨画で重視されている「線」による人体表現を試みる。			
【講義概要】			
・<石膏像(人体解剖像)の鉛筆デッサン>…頭部・胸部・骨盤の形状、首や腰へとつながる角度とその関係性、そこに腕や脚がついているという人体の構造と、主要な骨格・筋肉を理解しながら、動きや比率を正確に捉えて描く。			
・<人体の鉛筆デッサン>…観察方法と表現方法の訓練に力を入れる。全体を見て繰り返し比較を重ね、常に誤りがないか修正しながら、関係を調整する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	石膏像(人体解剖像)の鉛筆デッサン		
2	"		
3	"		
4	"		
5	"		
6	"		
7	"		
8	"		
9	人体の鉛筆デッサン(男性ヌード)		
10	"		
11	"		
12	"		
13	人体の鉛筆デッサン(女性ヌード)		
14	"		
15	"		
16	"		
【成績評価方法】			
課題作品の提出。出席状況・授業態度を加味する。			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
モチーフ(石膏像)または人物モデルを見ながらの実技制作。担当教員の関は画歴数十年で本校中国水墨画科設立に携わった学科長であり、永年日中の水墨画教育に貢献している。佐藤は水墨画以外に洋画など多方面に造詣があり、海外で個展開催などもしている。豊かな経験に基づく、広い視野を持った造形指導を展開している。			